

猪名川部会における委員発言に対応する資料

第7回猪名川部会説明資料

平成14年1月18日

近畿地方整備局 猪名川工事事務所

第7回猪名川部会説明資料

目 次

§ 1. 猪名川の現状	P. 1
1. 総合治水対策について	P. 2
1. 1 総合治水対策事業の概要	P. 3
1. 2 総合治水対策の評価	P.1 2
2. 保水能力について	P.2 1
2. 1 開発に伴う流出増の要因	P.2 2
2. 2 保水能力の表現方法	P.2 4
2. 3 保水能力の評価	P.3 1
3. 猪名川の治水の現状	P.3 6
3. 1 これまでの治水事業の効果	P.3 7
3. 2 上下流問題	P.4 7
§ 2. 河川と下水道	P.5 5

§ 1. 猪名川の現状

§ 2. 河川と下水道

■ 第7回猪名川部会

概要

1. 総合治水対策について
2. 保水能力について
3. 猪名川の治水の現状

■ 第7回猪名川部会

概要

1. 総合治水対策について

2. 保水能力について

3. 猪名川の治水の現状

1. 総合治水対策について

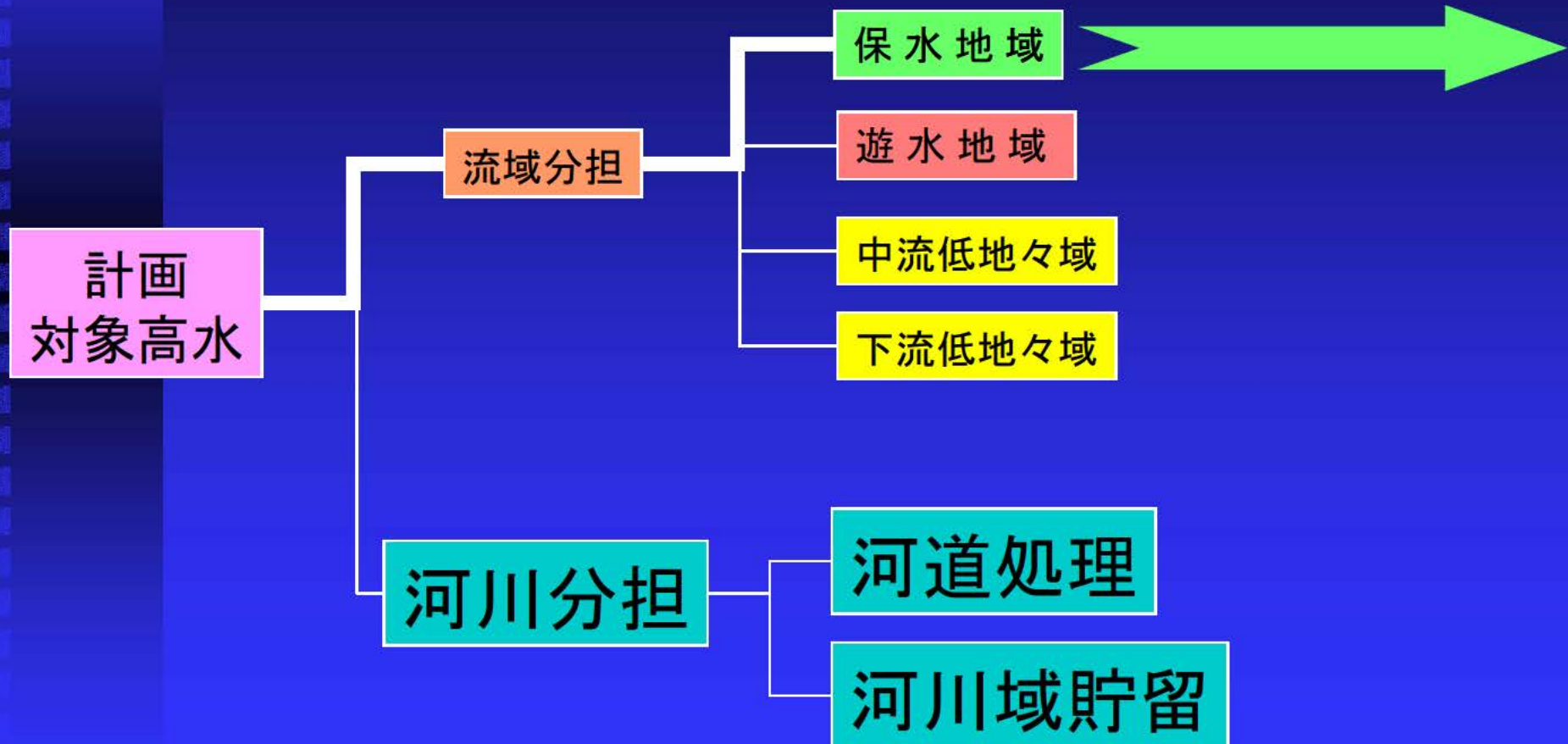
1.1 総合治水対策事業の概要

これまで総合治水対策事業は、以下の骨子に基づき実施してきた。

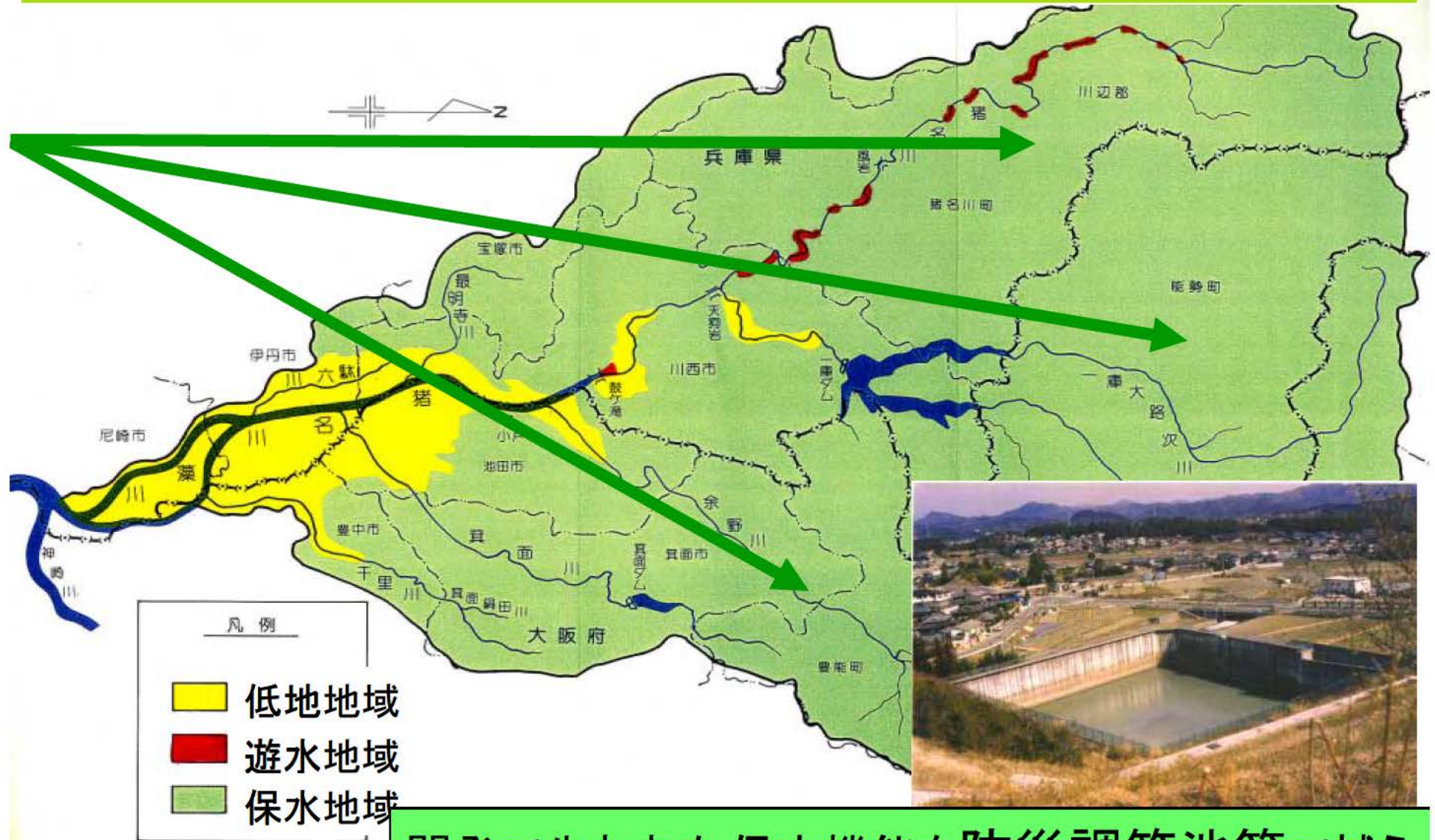
- ① 開発地の保水能力を防災調節池により確保する。
- ② 中・上流部で河道氾濫による遊水効果をもたせる。
- ③ 流下能力不足の区間の下流河道改修を進める。

猪名川の総合治水対策

流量分担計画



■ 保水地域：雨水が一時的に浸透し、滞留する機能を持つ地域
例) 山地・丘陵地



開発で失われた保水機能を防災調節池等で補う

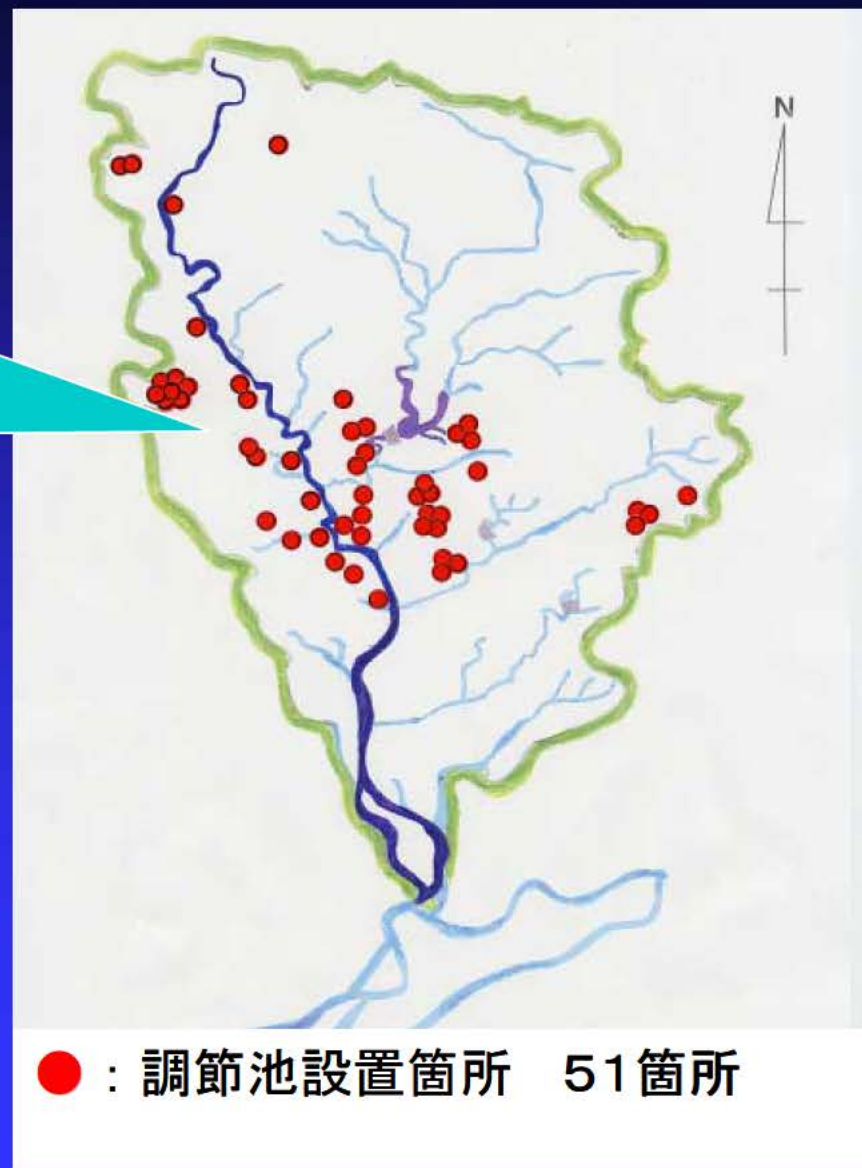
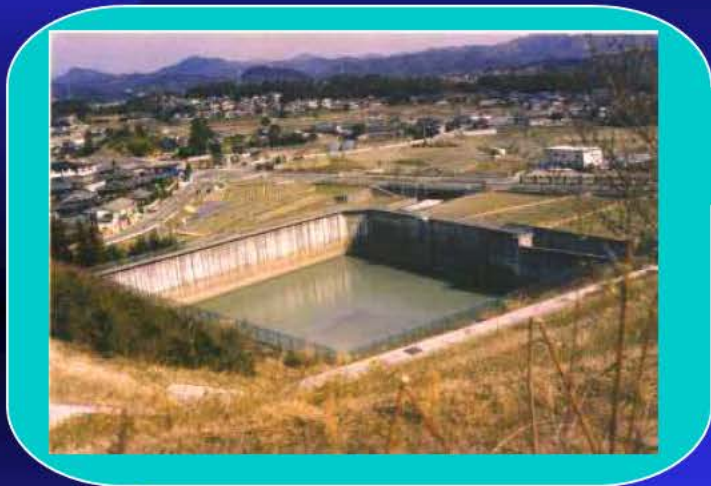
1.1 総合治水対策事業の概要

◆保水地域の現状◆

- ① 開発面積が1ha以上の防災調節池が51箇所あり、基準地点小戸上流域では約60万m³の調節池容量を確保している。
- ② 猪名川総合治水対策事業に対応した防災調節池は、小戸上流域で開発面積1ha以上の開発に対して1ha当たり600m³以上の調節池容量を設けるように指導している。
- ③ 防災調節池について恒久施設としての位置づけはされていない。
- ④ 猪名川小戸上流域では防災調節池が埋め戻された事例はない。

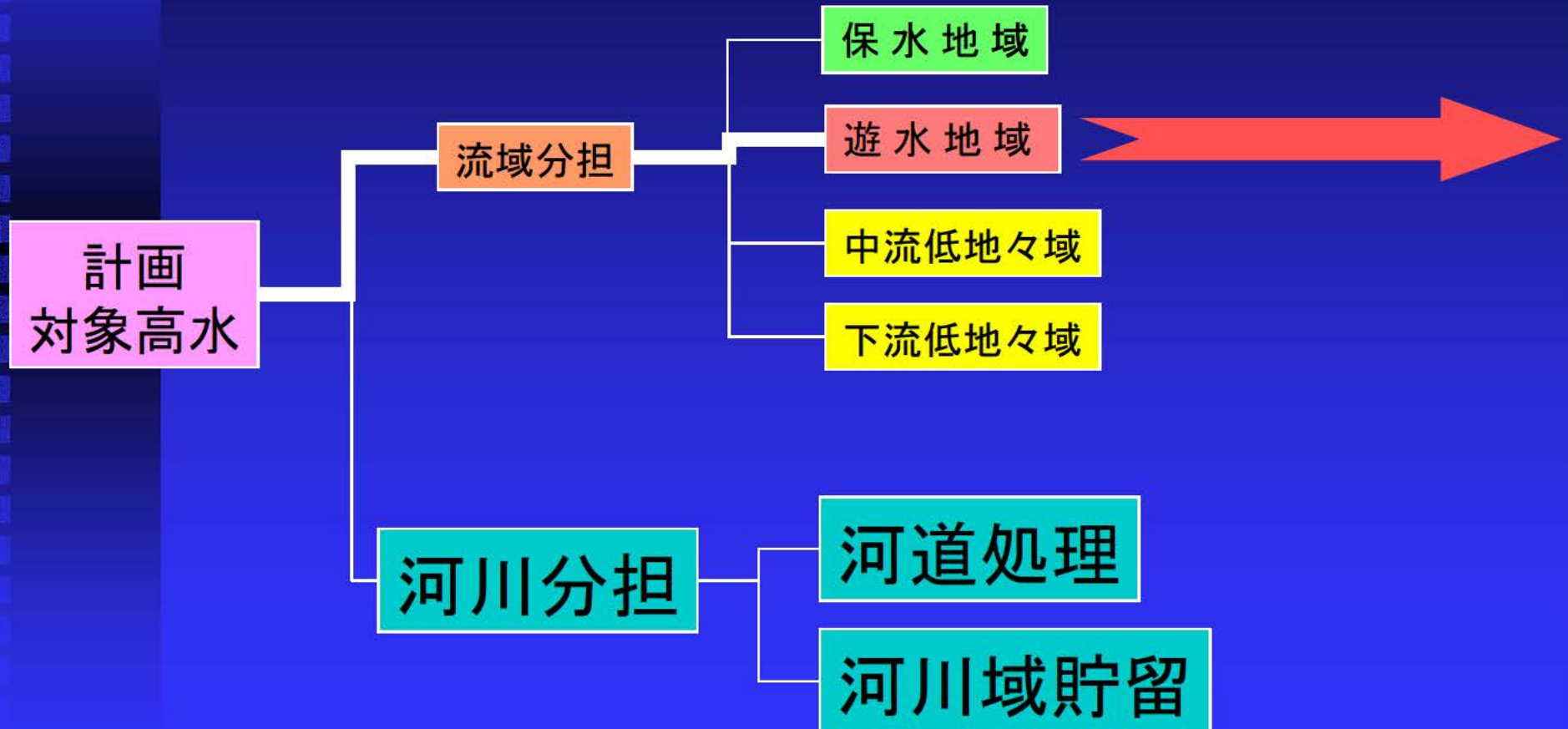
1. 1 総合治水対策事業の概要

調節池設置状況

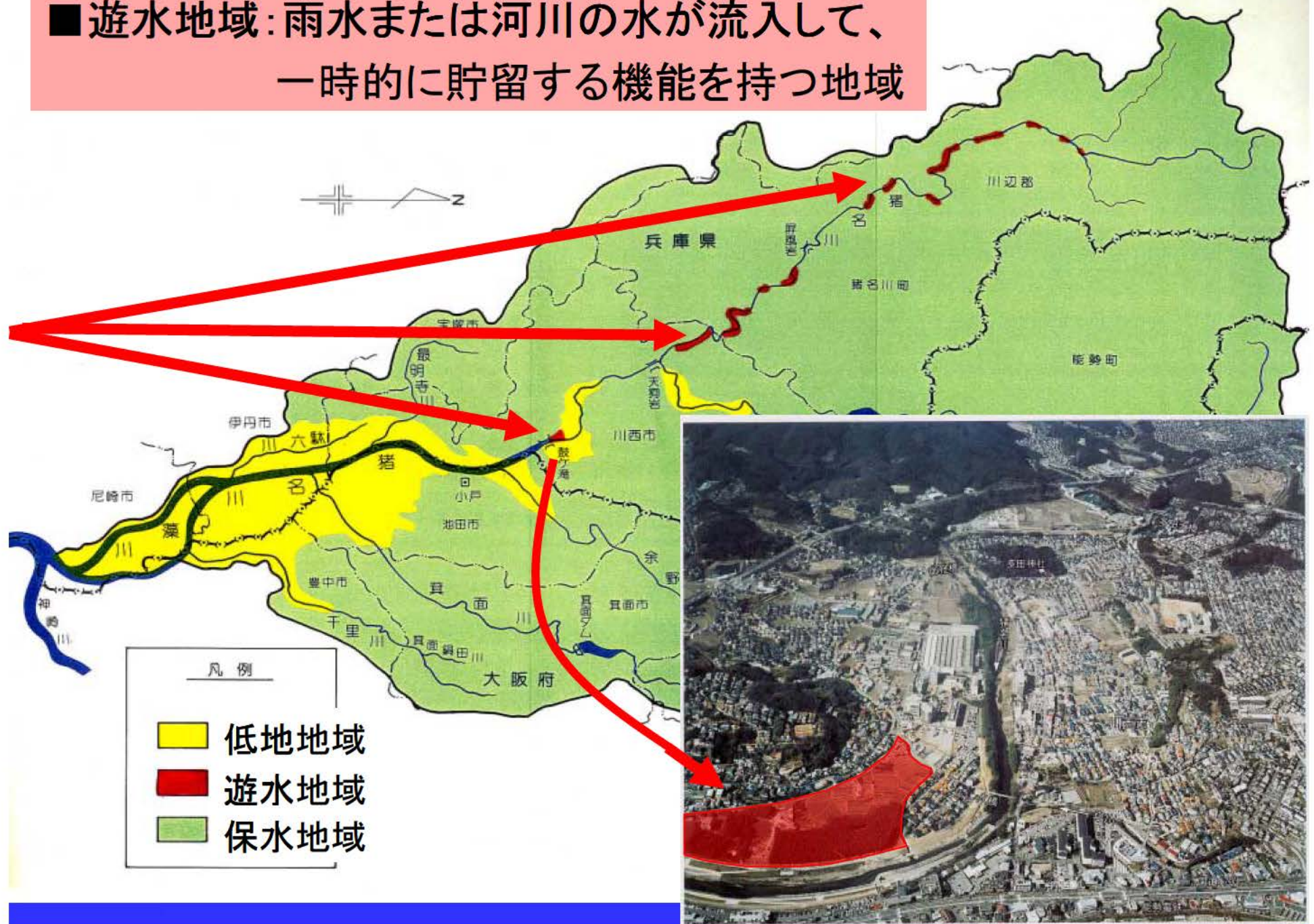


猪名川の総合治水対策

流量分担計画



■ 遊水地域：雨水または河川の水が流入して、
一時的に貯留する機能を持つ地域



1.1 総合治水対策事業の概要

◆遊水地域の現状◆

銀橋上流付近の多田地区及び猪名川上流部遊水域について土地利用の規制等を行っている。

■ 遊水地域：雨水または河川の水が流入して、
一時的に貯留する機能を持つ地域

